



生協連会報



2021

5

No. 494

<組合員関係報告>

地域で活動する方々との交流会	1
「子どもたちに平和な未来を2020」	2
「子どもたちに平和な未来を2020」第8回実行委員会	4
第2回食・消費委員会	5
第4回フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会	7
第1回地域・まちづくり委員会	9
<3月地域生協組合員供給高状況>	11



主な活動予定 2021.5.~2021.7

5月			6月			7月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	土		1	火	MCA無線通信訓練	1	木	
2	日		2	水		2	金	
3	月		3	木	サポちば理事会	3	土	
4	火		4	金		4	日	
5	水		5	土		5	月	
6	木	フードドライブキャン ペーン実行委員会	6	日		6	火	MCA無線通信訓練
7	金	MCA無線通信訓練	7	月		7	水	役員研修会
8	土		8	火		8	木	
9	日		9	水	県庁生協総代会	9	金	
10	月		10	木	コープみらい総代会	10	土	
11	火		11	金		11	日	
12	水		12	土		12	月	第2回地域・まちづくり委員会
13	木	第6回理事会 サポちば理事会	13	日	サポちば通常総会	13	火	
14	金	協同組合女性交流会	14	月		14	水	
15	土		15	火	パルシステム千葉総代会	15	木	第2回理事会 役員懇談会
16	日		16	水	ちば住宅コープ総代会	16	金	
17	月		17	木		17	土	原爆死没者慰霊式典
18	火	大学生支援実行委員会	18	金	千葉大学寄附講座 日本生協連通常総会	18	日	
19	水	災害対策委員会 千葉大生協総代会	19	土	千葉県高齢者生協総代会	19	月	
20	木	地域生協部会	20	日		20	火	第2回食・消費者委員会
21	金	千葉大学寄附講座	21	月	なのはな生協総代会	21	水	
22	土		22	火	生活クラブ総代会 千葉県生協連第72回通常総会	22	木	
23	日		23	水		23	金	
24	月	東邦大消費生協総代会	24	木		24	土	
25	火	千葉商科大生協総代会	25	金		25	日	
26	水		26	土	千葉県学校生協総代会	26	月	
27	木		27	日		27	火	
28	金		28	月		28	水	
29	土		29	火		29	木	
30	日		30	水		30	金	
31	月					31	土	

地域で活動する方々との交流会を開催しました



日 時：2021年3月26日（金）15：00～16：20

開催方法：Zoomを活用したWeb会議

出 席：千葉市緑区土気地区部会、コープみらい、パルシステム千葉
生活クラブ千葉、ちば住宅コープ、千葉市社協、千葉県生協連
オブザーバー参加 南房総市社協、日本生協連
合計 26名

3月26日（金）に千葉市緑区土気地区部会の方々、生協の地域支援に関する理事、職員と千葉市社協、千葉県生協連が出席して交流会を開催しました。はじめに、千葉市社会福祉協議会地域福祉ボランティアセンターの森所長より、千葉市社協と生協が繋がるきっかけから、本日の交流会に至るまでの経緯をご紹介いただきました。そして本交流会が地域部会、社協、生協の活動についての理解を深め、緩やかにつながりながら地域活動をすすめていくためのきっかけになることを期待したいと、ご挨拶をいただきました。

次に生協団体の活動紹介をおこないましたが、限られた短い時間のため、とくに生協の活動の中でも地域で行っている活動を中心に紹介をしてもらいました。また、地区部会の活動紹介では、地区部会の活動のほか、自分たちが抱える問題点などの説明をされました。

活動紹介のあとは、参加者同士の質問や感想などを話ながら、緩やかなネットワークづくりに向けて、さらに理解を深めました。

プログラム

- 15：00 開会・ご挨拶
千葉市社会福祉協議会
地域福祉ボランティアセンター
森 雅則所長
- 15：05 生協の活動紹介
- 15：25 千葉市社協と土気地区部会の活動紹介
- 15：45 交流（質疑応答・意見交換）
- 15：55 閉会のご挨拶
千葉県生活協同組合連合会
佐久間 実事務局長



上：地区部会の方々
左：参加者の方々

以上

「子どもたちに平和な未来を 2020」を開催しました



日 時：2021年3月29日（月）13：30～15：30

開催方法：Zoomを活用したWeb開催

参加者：小学3年生以上の生協組合員のお子さん、およびそのご家族

毎年8月に開催していた「子どもたちに平和な未来を」が、今年度はコロナの感染拡大により開催時期を延期し、また開催方法をオンラインに変更して、2021年3月29日に開催しました。今年度は、NPO法人 Dialogue for People 副代表で、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんを講師に迎え、「平和ってなに？～世界の子どもたちの声から考えよう～」と題して講演をしていただきました。

当日は事務局を含め80名を超える方々が参加しました。離れた場所からの参加でも共有できる雰囲気づくりのために参加者には事前にふりかえりシートを郵送し、当日はニックネームで呼び合いました。また、子どもたちの顔が見えるように大人の参加者はビデオをオフにするなどのご協力をお願いしました。



安田菜津紀さん

プログラム

- 13：00 開会あいさつ
- 13：40 安田 菜津紀さん講演会
「平和ってなに？～世界の
子どもたちの声から考えよう～」
- 14：40 休 憩
- 14：45 なつきさんとおしゃべりタイム
- 15：15 閉会
- ～15：30 フリートーク



講演会では、安田菜津紀さんが撮影されたシリアや陸前高田市の写真について、歴史や地理その時の状況またその後についてなどを子どもたちの表情を確認しながらゆっくりと丁寧に話してくださいました。子どもたちはシリアの場所を尋ねられると地球儀を取りに行き、すぐに確認する姿も画面越しに見られました。

休憩中には講演会で感じたことや考えたこと、質問などをふりかえりシートに記入してもらい、後半の「なつきさんとおしゃべりタイム」ではそれをもとに子どもたちが発表しました。子どもたちの話に対し、菜津紀さんが丁寧に応えてくださいました。手を挙げていない子どもたちも、指名するとしっかり自分の考えや感じたことを発表していました。

終了後には、フリータイムの時間を設け、プログラムの中では発言できなかった

ことや、感じたことをさらに自由に話す時間をつくりました。

安田菜津紀さんもお残りくださり、話に参加してくださいました。

＜参加者のアンケート一部抜粋＞

○参加しようと思ったきっかけ

- ・お母さんにすすめられて。
- ・安田菜津紀さんの話を聞いてみたかった。
- ・平和という難しいテーマを子どもに伝えるためのヒントがほしかった。

○講演について

- ・ニュースなどの難しい話ではなく、わかりやすい言葉で話してくれた。
- ・細かいところまで教えてくれた。地図を使って説明してくれたからわかりやすかった。
- ・平和ってなあに？の問いかけから入ったのでじぶんごとにして考えられた。実在しているお子さんのお話はより身近に感じられた。

○おしゃべりタイムについて

- ・子どもの気づきを肯定していただいたおかげで子どもは嬉しそうだった。
- ・子どもたちの質問に答える安田さんとのやりとりがよかった。
- ・子どもが主役で頼もしかった。

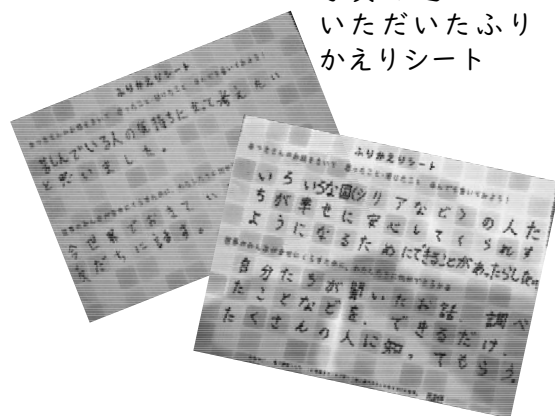
○オンライン参加について

- ・気楽に参加できた。
- ・写真や資料が見やすかった。
- ・集中して聞けた。今何を話しているのかがよくわかった
- ・オンラインでなければこの話を聞くことはできなかった。

○感想

- ・ご飯を食べに行くだけでも支援になるというのが新鮮でした。できるところから始めます。
- ・これからもこういう企画があったら参加したいです。安田さんこれからも活動頑張ってください。
- ・子どもたちと講演者とコミュニケーションできるのは忘れられない体験となり、とても良いと思いました。

写真で送っていただいたふりかえりシート



以上

「子どもたちに平和な未来を 2020」 第8回実行委員会開催報告

3 全てのの人に
健康と幸せを



16 平和と公正を
すべての人に



日 時：2020年4月6日（月）14：00～16：00

開催方法：Zoomを活用したWeb会議

出席：佐々木実行委員長・中村・丸岡（パルシステム千葉）、佐々木・河田・
本間（コープみらい）、岡崎・松田（生活クラブ）、山城（なのはな生
協）、佐久間・竹内（千葉県生協連）

3月29日に開催した、「子どもたちに平和な未来を2020」についての振り返りと、次年度の開催時期について話し合いました。

内 容：

1. 「子どもたちに平和な未来を2020」について

子どもを対象とした初めてのオンライン開催となった今回について、事務局からは事前申し込み状況、開催当日のようす、参加者アンケート（途中経過）や回収したふりかえりシートまた収支についての報告がありました。また実行委員からは、「子どもが参加しやすい環境づくりを意識していたことが画面から感じられとてもよかった」「オンライン企画だからこそできた企画だった」「今後の開催方法の一つとして有効であることがわかった」などの意見が出されました。

2. 「子どもたちに平和な未来を2021」の開催時期について

今年度同様に春休みにかけての開催とすることを確認しました。

3. 各生協からの報告

○パルシステム千葉 3月24日に「エネルギー基本計画見直しに対する意見」を政府に提出しました。3月30・31日に千葉大生に食糧支援を行いました。

○コープみらい 「ピースアクション in オキナワ」～第38回沖縄戦跡・基地めぐり～オンライン配信の視聴を呼びかけました。看護協会と医療生協へ1億4730万円の寄付をしました。組合員や職員から応援メッセージを集め贈呈する予定です。シトラスリボンプロジェクトに賛同し取り組みを進め、偏見と差別のない社会の実現の発信を行なっていきます。

○生活クラブ 3月30・31日に千葉大生に対して食糧支援を行いました。

○なのはな生協 3月30・31日に千葉大生に対して食糧支援を行いました。

次回の委員会日程について

各生協の総代会後、新メンバーにて6月末～7月に開催予定

以上

日 時：2021年4月12日（月）14：00～16：00

開催方法：Zoomを活用したWeb会議

出席者：川口(なのはな生協)、津田・丸岡(パルシステム千葉)、
(敬称略) 巽(コープみらい)、並木・中井(生活クラブ生協)、
太田(日本生協連) 上山・依光(県生協連)



内 容：

2021年度第1回食・消費者委員会では、昨年度末に提出した千葉県及び千葉市の令和3年度食品衛生監視指導計画(案)に対する回答をもとに、意見交換をおこないました。2021年度食・消費者委員会の活動計画についても検討しました。

1. 千葉県及び千葉市の令和3年度食品衛生監視指導計画について

2月にパブリックコメントに対し提出した意見に対する千葉県の回答について、確認をおこないました(千葉市は委員会時点で回答が未公表であったため、未確認)。

千葉県生協連から出された意見は、計画の修正とはなりませんでしたが、概ね前向きに受け止められました。

また、パルシステム千葉から提出された意見書について、同生協 津田理事よりご報告いただきました。「しばらくの間、意見を提出していなかったが、声を大きくした方が良いとの話があり、取り組んだ。理事を中心に関係職員にも意見をききながら取りまとめた」とのことでした。パルシステム千葉の意見書では、コロナ禍の中で不安に思うこと、特にデリバリーでの衛生管理、軽症者が待機するホテル等での食事のアレルギー管理などについても意見が述べられています。

2. 2021年度の学習活動について

2021年度食・消費者委員会の年間スケジュールを確認し、今年度の委員会(2回～5回)で取り上げる学習テーマについて検討しました。

事前に各会員から、今生協内等で関心の高いテーマについてアンケートをいただき、それをもとに意見交換をおこないました。

《出された意見》

- ・コロナ禍の今、千葉県内の暮らし、経済がどうなっているのかを知りたい。
- ・大学生のアルバイト減少など、貧困格差も広がっている。県の対応を知りたい。
- ・オンラインとキャッシュレス。私たち消費者がどのように気をつけたらよいか。
- ・海洋プラスチックごみについて
- ・コロナ禍での健康食品の利用が増えている。健康食品の安全性について学びたい。
- ・ゲノム編集食品など新たな食品も増えており、食品表示について学びたい。
- ・キャッシュレス社会について。仮想通貨、ビットコインなど聞きなれない言葉も多く、遠い話が身近なものになっている。実情をきちんと知る必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染が始まって1年になる今、産地では何が困っているのか。
- ・輸入食品が多く自給率が心配。福島第一原発の汚染水処理の問題は千葉県の漁業

と関連が出てくると思う。放射能汚染、汚染水について、話を聞きたい。

- ・ゲノム編集食品は表示がないため、消費者は避けることができない。農薬の残留基準についても知りたい。

出された意見から、学習内容の大枠を以下の通りに確認しました。

第2回	コロナ禍における千葉県の暮らし、経済の現状、課題、貧困格差について
第3回	食品表示法（ゲノム、添加物など）、食品表示と消費者の選択について
第4回	オンラインでの売買取引、キャッシュレスなどについて、現状と注意点等
第5回	食品衛生に関する学習
第6回	食品衛生監視指導計画に関する学習

これらをもとに事務局が起案し、委員に確認の上で講師依頼など、準備を進めます。

3. 各生協からの報告

○なのはな生協

コロナ禍の組合員活動として、Zoom を利用した「おしゃべり会」や「憲法学習会」「料理講習会」を開催しました。Zoom での料理講習会は生産者の協力を得て、今後定期的に開催予定です。また、「新型コロナウイルスワクチン」についての学習会を4月末に「東日本大震災からの10年を考える」と題し、DVD 上映と被災者の講演会を予定しています。

○生活クラブ生協

県内生協やJA とともに千葉大学への食料支援をおこない、ノンカップ麺を提供しました。組合員へ支援のためのカンパをお願いしたところ、400 万円以上集まりました。同じく子ども食堂の支援基金にも前年を超えるカンパが集まり、関心の高さが伺えました。

コロナ禍のため、対面での加工用トマトの定植と収穫企画を、感染予防をしながら開催します。4月の定植には定員を超える参加者が集まりました。

○コープみらい

2月に、動画やブログ、SNSなどを活用し、これまで取り組んだ活動についてオンライン発信しました。66 ブース、見逃し配信も含め 16549 回の動画再生数となりました。

成年年齢引き下げに向けた冊子を作成し、コープみらい奨学生初の卒業生を送り出す際に、記念品やメッセージとともに贈りました。今後活動などでも活用します。

2020 年度剰余から、看護協会と医療生協へ1億4730 万円を寄付しました。組合員・役員から医療従事者への応援メッセージを冊子にまとめ、寄付目録と共に贈呈しました。

○パルシステム千葉

2月にはオンラインつどいに9センター24 企画 323 名が参加し、オンライン産直交流企画には2 企画合計 18 名が参加しました。また、同じく毎年開催している「子育てフェスタ」もオンラインで開催し、2 日間で11 企画 284 組が参加しました。

毎年2月に開催している総代との交流企画「くらしトーク・トーク～方針検討会～」をオンライン開催のみで実施し、計5回開催し95 名が参加しました。

昨年3月以降、生活困窮者への食料支援の取り組みは10 団体、43 回実施しています。

○ 次回 7月20日 14時～16時予定

以上

2021年度 第4回フードバンクと 千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会報告



日 時：2021年4月15日（木曜日） 13：30～15：30

開催方法：Zoom を活用した Web 会議

出席者：菊地（フードバンクちば）、笹田（フードバンクふなばし）、
高橋、田中（とうかつ草の根フードバンク）、柴山（生活クラブ生協）、
岡部、高山（コープみらい）、丸岡（パルシステム千葉）、
佐久間、白井（千葉県生協連）

内 容：(1) フードバンクと県内生協連携キャンペーン・キックオフイベントについて

○ギネス記録に挑戦

- ・ギネスに挑戦するための費用が最終的に130万円位になるのでギネス挑戦は行なわない。

○プロスポーツチームとの連携

- ・スポーツクラブには代理店を通して話をしたが、コロナの影響で試合も出来ない、観客も呼べない苦しい運営状況の中でスタジアムを貸すなどの社会貢献まで至らないのが現状
- ・今後の事も含めて生活困窮者に対しての支援について一緒に出来ることがあれば県内のフードバンクの中で協議会のような形を立ち上げてそこが受け皿となり関係が進めばよいのでは。

○キャンペーンメイン企画 集まった食品でメッセージを作る

- ・一堂で会して作成しなくても各生協がそれぞれ集めた食品でメッセージを作成しイベントで報告してはどうか？
- ・メッセージの方向対象をどこにするのか？（支援をする側/される側）
- ・メッセージの作成（各生協の配送センター、組合員への公募）

※パルシステムちばで5月にキャンペーンを行うので、集まった食品を使用し文字の作成などを試みる。

○中学生記者による取材ツアー

- ・「夏休み宿題応援企画」として実行する
- ・各フードバンクでそれぞれのフードバンクの取組み内容を説明した後賞味期限別仕分けや発送作業の手伝いなど体験してもらう。
- ・フードバンクちば、フードバンクふなばし、とうかつ草の根フードバンクからの受け入れ日程を基に4生協が調整する。

- ・中学生取材記事の発表の仕方、提出先を検討

○プレスリリース

- ・メッセージの作成と中学生の取材が具体的に決まってからでも間に合うので次回以降に決める。

(2) フードバンクの状況

○フードバンクふなばし

年明けから支援依頼が増えてお米が不足している。フードバンクふなばしとして要保護児童対策地域協議会（要対協）のメンバーになった。

○とうかつ草の根フードバンク

支援の要望が増えた。DVによる緊急避難者が増え、食品だけでなく生活用品についても提供をしてもらいたい。

○フードバンクちば

2月3月に支援の依頼が増えた。NPOと協力し3定時制高校へお米の支援をしている。千葉大学生向けの食糧支援「もってけ市」にもお米の提供をしている。

(3) 各生協からの報告

JAグループと地域生協・生協連など9団体で3月30、31日にコロナ禍でアルバイトなどが減り生活が困窮している一人暮らしの千葉大学生にお米、パスタ、レトルトカレー、缶詰、カップめん、水などの食料品を無料で提供した。

○ 次回の日程

5月6日（木曜日） 13:00より WEB開催

第1回地域・まちづくり委員会報告



日 時：2021年4月21日（水）10：00～11：30

開催方法：Zoom を活用した Web 会議

出 席：神野・丸岡（パルシステム千葉）柴山（生活クラブ千葉）
高橋（ちば住宅コープ）上山・竹内（千葉県生協連）
オブザーバー並木・小林（日本生協連）

1. 意見交換

新年度初の委員会では、下記について意見交換をいたしました。

(1) 地域で活動する方々との交流会振り返り

3月26日に開催された千葉市緑区土気地区部会の方々との交流会についての振り返りでは、土気地区部会方々から「地域生協が取り組む事業と活動の多彩さを知った」「地区部会と生協の取り組みと、共通する部分がある」「各生協の特性を活かしながら、互いを補完しあい、連携していることは意義のあることだ」などの意見が寄せられました。また参加した委員からは、「自分たちも地区部会の活動を知らなかった」「連携できたらいいのでは終わらせずに進めていかなければならない。課題を与えられた気がする」「生協連や社協などがハブ的役割をして、県内全域に広げていければいい」「頑張りすぎないでこのつながりを大事にしていきたい」



パルシステム千葉 神野さん

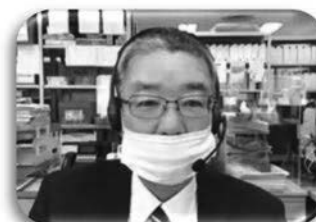


生活クラブ千葉 柴山さん

オブザーバー参加の南房総市社協の方からも「生協の活動が多岐にわたっていることは知らなかった。また社協の活動と共通することもあり、今後役割分担することで地域福祉の推進となるのではないか」などの感想をいただきました。

(2) 昨年度の振り返り

新型コロナウイルス感染拡大のために委員会が中止になったり、地域の方々と対面での交流ができなくなるなど、想定外の活動となりましたが、振り返りをしました。委員からは「コロナの感染拡大により、当初の予定と大幅に変わってしまったが、コロナ禍でもこのようにゆるやかなつながりを持てたことは成果のひとつだ」「これからもこのつながりをもとに、地域の課題解決のために活かしていきたい」「地域とつながって課題解決をしていきたい」などの感想がありました。また、パルシステム千葉より、他団体と協同する地域コミュニティの取り組みが紹介されました。



千葉住宅コープ 高橋さん

(3) 今年度のすすめ方について

事務局から1年間かけて行う取り組みについてと、第2回の取り組み（千葉県の現状と地域支援）について、説明がありました。委員からも、「千葉県の



パルシステム千葉 丸岡さん

現状を知ること、今後の活動の参考になる」「千葉県の生協として、千葉県全域について知ることは大事」「他市の社協にも広げていけたらいい」

「千葉県が抱える課題認識について概要から知りたい」「若い世代が感じる魅力について知りたい」などの声がありました。千葉県が抱える重点

課題と、生協やNPOなどを含む他団体に期待するところなどについて講師を選定していきたいと思えます。

2. 会員生協からの活動報告

○パルシステム千葉 「まん延防止等重点措置」の適用に伴い実参加の活動や、施設等の貸し出しは中止とし、オンラインでの活動を継続して行っています。オンライン参加のためのオンラインでの参加者は増加傾向となっています。生活困窮者への支援は他団体と連携し食料支援活動を継続しています。また定時制高校の生徒へ500食の食料支援を5月に行う予定です。8月にはパルシステム千葉が運営するサービス付き高齢者向け住宅がオープンします。交流スペースでは地域の方々も利用できる様々なイベントを行う予定です。

○生活クラブ千葉 組合員活動は、感染状況に応じてオンラインやハイブリッドで開催しています。2月に60代～70代の組合員に対して、これからの活動参加を模索するためにアクティブシニアアンケートを行いました。2021年度エコ福祉助成は10団体に行いました。デポー2店舗に常設した食品用寄付ボックスに集まった食料品を提携団体へ寄贈しました。大学生への食糧支援組合員カンパは総額約410万円が集まりました。

○ちば住宅コープ コロナ禍で、緊急ではない工事は先延ばしする風潮が如実に表れ前期実績は供給減の見通しです。今期はコロナ禍でも定期的にメンテナンスの重要性や、工事中での感染防止対策をアピールし、受注回復につなげたいです。また、まちづくり需要の喚起のため「グランピング」「コンテナハウス」を新たな事業として計画しています。

3. 次回の日程について

7月12日（月）をと予定していますが、事務局より再度日程を確認させていただきます。

以上

2021年3月組合員数・供給高状況

単位：千円

項目	なのはな	パルシステム千葉	コープみらい	生活クラブ	合計
当月純増組合員数	-136	-1,659	-3,261	26	-5,030
前年当月純増数	5	-878	-1,590	-23	-2,486
累計純増組合員数	-293	-169	4,598	1,042	5,178
前年累計純増数	93	5,333	17,769	156	23,351
当月末組合員数	12,647	251,889	878,694	44,174	1,187,404
当月供給高	184,134	2,980,443	7,951,529	819,225	11,935,331
前年当月供給高	179,845	2,854,460	7,910,540	783,152	11,727,997
前年比	102.38%	104.41%	100.52%	104.61%	101.77%
前年当月前々年比	116.27%	119.66%	111.67%	114.13%	113.75%
累計供給高	2,176,543	34,426,307	104,781,811	9,679,195	151,063,856
前年累計供給高	1,824,823	30,164,670	94,367,954	8,393,151	134,750,598
前年比	119.27%	114.13%	111.04%	115.32%	112.11%
前年累計前々年比	100.19%	103.00%	100.31%	100.56%	100.92%

※ コープみらいは、千葉県内の事業所の数字です。

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立	1949 年
会長理事	首藤 英里子
会 員	12 生協
準 会 員	2 生協
所 在 地	千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館 5 階

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス http://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



千葉県生活協同組合連合会

千葉県中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>